



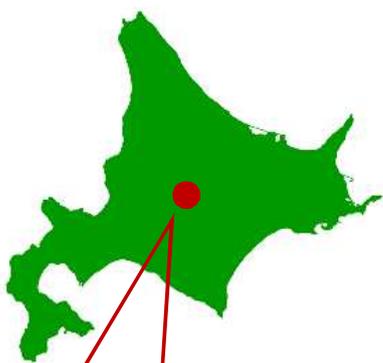
令和4年6月2日

富良野市総務部スマートシティ戦略室

1

富良野市の概況

SMART
CITY
FURANO



北海道の中心に位置する富良野市は、北海道の『へそ』といわれ、毎年7月には「北海へそ祭り」が開催されている。



- 人口 20,397人(令和4年4月末住民基本台帳)
- 面積 600.71km²(おおむね20km×30kmのかたち)
- 語源 富良野は、アイヌ語の「フーラヌイ」からきていて「臭くにおう泥土」を意味する。活火山である十勝岳から流れ出る川の水が硫黄臭く、この一帯が泥炭(でいたん)地帯であったことからきている。
- 基幹産業は農業(作付耕地面積:9,086ha)
富良野市及びその近郊の野菜生産額は、北海道全域で第1位。多様な農産物に加え、ワインやチーズなどの6次産業化の取組が行われている。



2

農業と観光と環境のまち

年間190万人以上が訪れる観光都市



新富良野プリンスホテル



ニングルテラス



TVドラマ「北の国から」



富良野演劇工場



フラノマルシェ



ふらのワイン

ごみのリサイクル率90%を誇る環境都市 燃やさない・埋めないを基本理念として市民が14種別にごみを分別



地域ブランド研究所による
「全国市区町村魅力度
ランキング2021」で
第10位（前年第9位）

富良野市のICT利活用の基本的な考え

ICT活用推進
計画の基本理念

ひと・モノ・情報がつながるスマートシティ富良野

～ICTの恩恵を市民誰もが享受できるデジタル社会をめざして～

ICTの利活用による
行政事務の効率化

業務プロセス改革の取組

令和4年9月新庁舎供用開始



ICTの利活用による
市民の利便性向上

スマートシティの取組



ICTの利活用に関するこれまでの経過

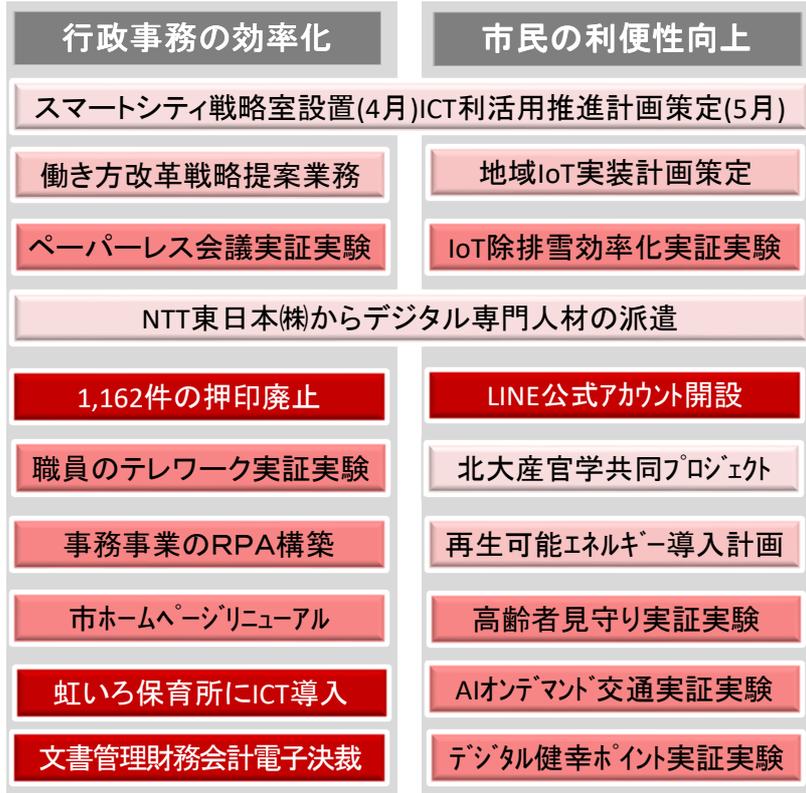
「行政事務の効率化」と、「市民の利便性向上」の2つの方向性で取り組みを実施

主な進め方



R2
年度

R3
年度



業務プロセス改革の取り組み

ペーパーレス会議導入	音声文字変換ソフト導入	RPAの導入
 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度延88回の会議を開催 延1,331人、59,183枚の紙を削減 紙、印刷費削減効果額は78万円 	 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度延129回の会議を収録 総会議時間110時間13分 総会議数614,448回の会話を文字変換 	 <p>法人市民税申告書データ入力：78時間 給与支払報告書データ入力：796時間 償却資産申告書登録入力：606時間 軽自動車税申告書入力：400時間 個人住民税特徴異動届入力：56時間 水道使用開始廃止届入力：2,700時間 高額介護サービス支払入力：502時間</p>
1,162件の押印廃止	LINEによる情報配信	職員のテレワークの試行
 <p>届出手続の92.8%を廃止</p>	 <p>7ヶ月で登録者1万人突破</p>	 <ul style="list-style-type: none"> 部課長職50名中43名が実施(86%) 係長係職209名中102名が実施(49%)

※その他、支出命令書に添付していた単価明細書の廃止で1,666時間の削減効果

富良野市のスマートシティに向けたイメージ①



キャッシュレス化

カーボンニュートラルの取り組み

除雪機械の作業状況のリアルタイム確認

ワーケーション環境の整備

降雪量データに基づく最適な出勤



富良野市のスマートシティに向けたイメージ②



遠隔教育

ドローンによる商品配送

遠隔医療

AIオンデマンド交通

スキー場周辺と市街地を結ぶ自動運転バス

ICTによる高齢者見守り

デジタル健康ポイント

富良野駅における切れ目のない乗継環境



ICT利活用に向けたロードマップ

第6次富良野市総合計画にの「4つのWA」の中心からICT導入を図っていき(ひと→しごと→まち・自然)



虹いろ保育所におけるコドモンの導入

こども施設向けICT支援ツール CODMON

- ① 登降園管理**
QRコードを使って登降園時間を自動＆非接触で記録、出席簿をペーパーレス化
→感染症対策＆手書きによる手間を軽減
- ② 日誌・指導案など書類作成**
必要な帳票や、指導計画等をシステム上で作成
→帳票作成を効率化し業務負担を軽減
- ③ 保護者とのコミュニケーション**
保護者スマートフォン等のアプリからいつでも連絡
→保護者・職員のスムースな連絡やりとり実現

こどもと接する時間の確保、保育の質向上
保育士や先生の働き方改革

（玄関） 【登降園受付用タブレット端末】
【QRコードリーダー】

（職員室） 【無線AP/ルータ】
【職員用PC】

（教室） 【タブレット端末】

新聞記事

高齢者の見守り・新たなコミュニティ形成に向けた実証実験

コロナ禍の影響により、高齢者がサロンや集いの場等の利用をひかえるなど自宅で過ごす時間が長くなることにより、運動や会話の機会が減少し、体力や認知機能の低下が懸念されている。

【期 間】
11月～来年1月

【モニター】

民生委員役員	8名
東町在住高齢者	6名
東山在住高齢者	5名
寿光園	1台
合	計20台



12月15日 東山オンライン茶話会

新聞記事

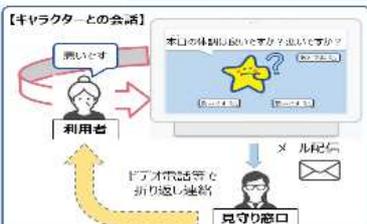
富良野市での「高齢者見守りサービス実証」の取り組み

・ご自宅
・高齢者向け施設

- オンラインイベントに参加
- 住民間やご家族とのテレビ電話
- キャラクターとの会話 等



【キャラクターとの会話】



1月15日 HTBイチオシで放送(30秒)

AIオンデマンド交通(ちょいのりタクシー)の実証実験



11/22
から
12/21
まで

先着
200名
限定

先行体験
無料で
乗り放題

新しい交通の体験企画！(実証実験)

エリア内 乗り放題
ちょいのりタクシー

※ 市内に居住している方が対象です。
※ 「mobi (red)」というサービスを使用予定。

※ ご不要な場合はお返期に申し合わせください。
富良野市役所 総務部 スマートシティ戦略室
電話 0167-39-2305

月額定額でエリア内乗り放題の新しい交通サービスです。
今回の企画では1か月間無料で先行体験できます！
電話やアプリでタクシーを呼ぶとすぐにお迎え。
(平均10分程度の待ち時間)
最適なルートで効率よく目的地周辺へ運行します。
こみ合うときは相乗りになることもあります。

運行時間 朝8:00～夜7:00

※ 電話予約の方は朝9:00～夜7:00となります。



モニター募集！

10月18日(月)から申し込みを受け付けます。
詳しい内容と申し込み方法はこちらへ。







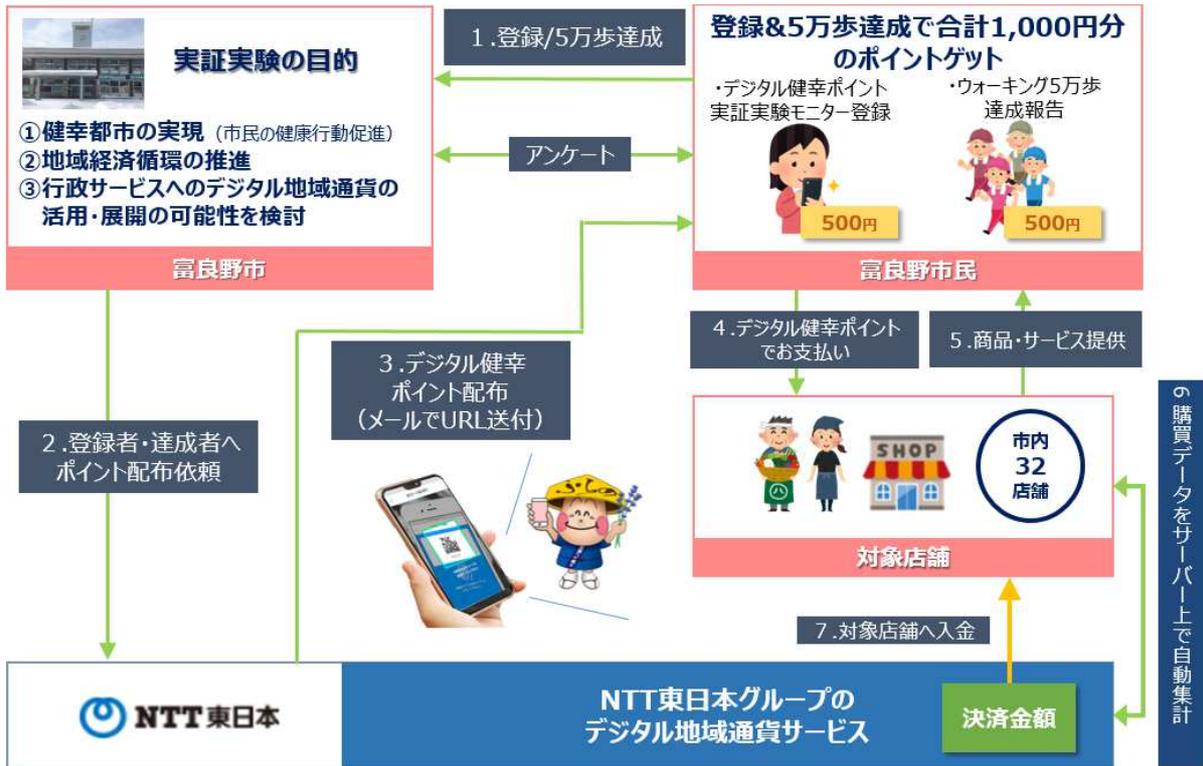


新しい交通サービス ちょいのりタクシー 富良野実験

11/22日～12/21日

新聞記事

デジタル健幸ポイント実証実験



デジタル健幸ポイント実証実験

富良野市民の方へ

先着 300名 限定

“デジタル健幸ポイント”に
カンタン登録 & 目標歩数達成で
最大1,000円分のお買い物ポイントプレゼント!

市内の対象店舗で使える

スマホご利用推奨

かんたん! 2つのステップでポイントゲット!
ゲットしたポイントを使って市内の対象店舗でおトクにお買い物

STEP1 まずは **カンタン登録!**
スマホで

お持ちのスマホで、右のQRコードを読み込んで、必須事項を入力すれば登録完了! ※先着300名限定
なんと! 登録しただけで、スマホで使える“デジタル健幸ポイント”500円分をメールでプレゼント! ※登録はおひとり1回限り
・2月1日(火)~2月14日(月)までの登録 → 2月17日(木)にプレゼント
・2月15日(火)~2月28日(月)までの登録 → 3月3日(木)にプレゼント
登録URL: <https://www.happi.jp/SmartCityWeb/EntryForm?id=844y5d5t>

STEP2 目標歩数 **歩いて報告!**
5万歩を

デジタル健幸ポイントに登録した方は、期間中に5万歩を歩いて報告すると(証明する写真などの画像を添付)、さらに500円分の“デジタル健幸ポイント”をメールでプレゼント!
・対象期間 2月18日(金)~3月10日(木)
・ポイントプレゼント日 3月16日(水)
※1期間中に報告完了が必須です。

貯めたポイントでおトクにお買い物!
受け取ったポイントは、市内の対象店舗に設置のQRコードを、スマホの専用サイトで読み取って使えます。
・ポイント利用期間 2月17日(木)~3月31日(木)
※対象店舗はポイントプレゼントメールで確認してください。
※多く利用はできません。

新聞記事

- デジタル健幸ポイント申請数388名
- デジタル健幸ポイントユーザー登録者数217名
- 5万歩達成登録者数144名

2021年8月11日 3者共同でのプレスリリース・記者向け説明会実施

Press Release
北海道大学、富良野市と日本オラクル、スマートシティ推進で連携

北海道大学の「博士課程DX教育プログラム：北海道富良野市のスマートシティ推進支援」において、日本オラクルのクラウド・サービスを活用したワークショップを実施し、富良野市の社会課題解決を支援

写真：2021/08/11

富良野市は、北海道大学（富良野市）と「北海道大学」が、北海道富良野市（市長：北橋俊氏、以下「富良野市」）と日本オラクル株式会社（本社：東京都中央区、以下「日本オラクル」）は、富良野市のスマートシティ推進支援を目的として、富良野市の社会課題解決を支援



2021年度北海道大学の博士課程学生を対象とした教育プログラム「スマート都市科学系修士プログラム」の最終科目として、ワークショップ「博士課程DX教育プログラム：北海道富良野市のスマートシティ推進支援」を2021年8月11日（月）19:00から実施。日本オラクルは、日本オラクルは、富良野市に「スマートシティ推進支援」を目的として、富良野市の社会課題解決を支援

北海道大学では、2019年度に「博士課程DX教育プログラム」を開始し、富良野市と連携して、富良野市の社会課題解決を支援

3社共同でのリリース、説明会（オンライン）



富良野市長 北橋俊氏、北海道大学 副学長/大学院理学研究科教授 石森浩一郎氏、日本オラクル 執行役員 公共営業統括 朝飯橋 孝多氏

スマートシティ、DX、人材育成に向けて、産官学で連携し取り組んでいくことを発表



共創事例：富良野市・北海道大学
富良野市のスマートシティ推進で産官学連携



北海道大学の「博士課程DX教育プログラム：北海道富良野市のスマートシティ推進支援」において、日本オラクルのクラウド・サービスを活用したワークショップを実施し、富良野市の社会課題解決を支援



利用サービス
Oracle Analytics Cloud
Oracle Autonomous Data Warehouse
Oracle Cloud Infrastructure

<https://www.oracle.com/jp/news/announcement/hokudai-furano-smartcity-20210811.html>